

誤解だらけの食の安全・安心 (1) 欧米の規制強化

中村 幹雄

日本では「規制緩和」が当たり前となっていますが、欧米では規制強化に舵をきりつつあります。欧米が正しいというつもりはありません。今回は、2つの事例を紹介します。

1 EUのアゾ系色素の警告表示

英国政府の予算を使って、サウサンプトン大学 (University of Southampton) で実施されたプロジェクト研究の成果が、医学雑誌”Lancet”の2007年9月4日号に掲載されました。「タール色素と安息香酸による多動性行動に関する研究」です。

プロジェクト名：

子どもの行動に及ぼす人工着色料及び保存料の慢性及び急性影響

期間：2004年9月～2007年2月

受託先：School of Psychology, University of Southampton

報告日：2007年6月18日，改訂日：2007年9月10日

この研究成果に基づいて、2010年7月20日から、EU全域で警告表示が実施されています。

・対象食品：E102 (食用黄色 4 号)，E110 (食用黄色 5 号)，E104 (キノリンイエロー)，E122 (アゾルビン)，E124 (食用赤色 102 号)，E129 (食用赤色 40 号) のを含む飲食品 (アルコール飲料を除く)

- ・表示方法：「色素の名前またはE番号」は子どもの行動や注意に有害かもしれない。

Name or E number of the colour(s):
may have an adverse effect on activity and
attention in children.

英国では、これらの色素をほとんど排除しました（2010年10月1日現在、70社の84製品）。さらに、切り替えが困難な食品メーカーは、英国FSAに申し出るように通知されました。

日本の食品安全委員会については、欧州食品安全機関（EFSA）の科学的意見書（2010年9月10日採択）を、11月4日の委員会で事務局が報告しましたが、「予防原則」に則った評価や対応をする考えはないように思われます。食品安全委員会の姿勢は、警告表示以前の問題です。

2 米国食品安全強化法案と米国FDAの強化

2.1 米国食品安全強化法案：食品医薬品局（FDA）の権限強化

「米国食品安全強化法案」は、2009年7月30日に下院で承認・可決されました。（H. R. 2749）

議会筋へのロビー活動をしています米国消費者連盟（Consumer Federation of America）、食料・水監視（Food & Water Watch）などの団体は、両院協議会を経て2010年内には成立し、最終的な施行規則の制定・施行までには最長で3年程度かかり、施行も早いものと遅いものに分かれるとしています。

- ・FDAの検査頻度を大幅に高め、食品生産・製造施設、輸送、保管関係施設は毎年FDAへの登録が必要とされる。外国の食品製造施設も輸入業者を通じて登録料の納入が必要。登録料は1施設500ドル、1企業当たり上限17万5,000ドル。ただし、消費者に直接食品を販売する農場、食品小売業者、レストランなどは適用除外。

- ・食品安全検査局（FSIS）所管の食品（畜肉、家禽及び卵製品）については、規制対象から除外。

- ・トレーサビリティについては、実施可能性について、問題点が多数指摘されている。仮にこれが実施されると、日本からの食品輸出に支障が生じる可能性がある。

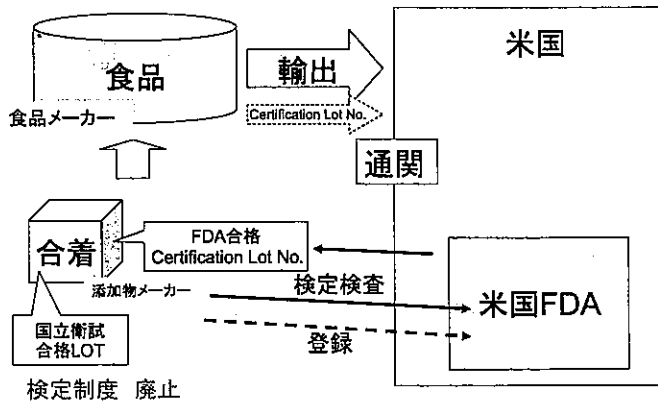
（JETRO 通商弘報参照）

従来、米国に食用タール色素を含有する食品を輸出する食品事業者は、FDAの検定検査を受けた旨の表示のある製品（certification lot numberを表示）を使用してきました。

FDAのこの制度は定着しておりまして、かなりの利益も得てきました。「今般は、この制度の大幅な拡張である」との見方もできます。

逆に、日本では、添加物業界の反対を押し切る規制緩和（検定制度廃止）を行いました。

タール色素を含有する食品の米国への輸出



2.2 米国 FDA の移転拡張

米国 FDA は、ワシントン DC から元海軍基地のホワイトオークに、2003 年から移転を始めました。日本に置き換えれば、米軍横田基地 (4.5×2.9km) あるいは米軍横須賀海軍施設へ全施設を移転することに相当します。FDA の人員 (医薬品を含む) も大幅に増やすとのことです。

日本では、2004 年 4 月、国立医薬品食品衛生研究所大阪支所の独立行政法人医薬基盤研究所への移管に伴い大阪支所食品試験部が廃止され、食品の監視・指導体制がさらに脆弱になりました。

<p>米国 FDA の移転・統合</p> <p>2003 年から移転開始、進行中</p> <p>ワシントン DC ⇒ ホワイトオーク (メリーランド州)</p> <p>27 のビルに分散 元海軍基地 約 1,000 億円</p> <p>約 5,500 人 ⇒ 約 8,900 人</p> <p>(いずれも医薬品を含む)</p>

会員の皆さまは、誤解していませんが。

(なかむら・みきお 鈴鹿医療科学大学薬学部)

